

2026年4月6日

スパークス・グループ株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社三井住友銀行
株式会社三菱UFJ銀行
株式会社みずほ銀行

スパークスによる「日本モノづくり未来2号ファンド」の設立について －日本のモノづくりの持続的な発展に向けた投資－

スパークス・グループ株式会社は、今般、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行と、「日本モノづくり未来2号投資事業有限責任組合」（通称：日本モノづくり未来2号ファンド）を設立しました。

本ファンドは、2020年12月に設立した『日本モノづくり未来ファンド』に続く取り組みとして、日本のモノづくりの持続的な発展に貢献することを目的に、優れた人財・技術・サービスを有する国内のモノづくり企業に投資します。また、有限責任組合員各社を含む幅広いネットワークを活用し、現場・経営改善支援、生産性向上施策の実行支援、経営管理体制の強化、ならびに経営戦略の策定・実行支援などを通じて、投資先企業を支援します。

本ファンドは、スパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社がファンド運営者（GP）となり、各出資者（LP）からの出資を受けて、2026年4月3日より運用を開始しました。また、2027年3月末までを目途に、ファンドの趣旨にご賛同いただける投資家の方々からの追加出資を募り、最終的には総額500億円規模のファンドを目指します。

<日本モノづくり未来2号ファンド 概要>

ファンド名	日本モノづくり未来2号投資事業有限責任組合 (通称：日本モノづくり未来2号ファンド)
基本理念	優れた人財・技術・サービスを有する企業に投資し、企業価値向上を支援することで、日本のモノづくりの持続的な発展に貢献する
投資先	優れた人財・技術・サービスを有する国内のモノづくり企業 (原則として製造業)
投資先への支援内容	・株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行が培ってきたファイナンス・投資活動の知見、ノウハウの活用 ・現場・経営改善支援、経営戦略・中期経営計画の策定・実行支援など
出資者	無限責任組合員：スパークス・アセット・トラスト&マネジメント株式会社 有限責任組合員：トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、スパークス・グループ株式会社
ファンド規模	407億円（2026年4月3日時点）

以上